

| | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------------------|------|----|-----|----|------|------|-------|------|---|
| 科目コード | E1901 | 開講学期 | 春期 | 単位数 | 2 | 一般聴講 | 不可 | LA聴講 | 可 | |
| 授業科目名 | 生活芸術基礎 | | | | | | | | | |
| Course Title | Introduction to Arts in Life | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 柏木 博・早野 曜子・金井 知子・酒本 絵梨子 | | | | | | 責任教員 | 早野 曜子 | | |
| 曜限:日程 | 木2 | | | | | | | | | |
| 対象学年 | 1年 | 必修 | 2年 | — | 3年 | — | 4年 | — | 重複履修 | — |

授業のねらいと到達目標

わたしたちは日々の生活の中で、さまざまな表現——言葉、身体、図像、音、味ほか——に出会い、意識的にも無意識にもそこから多くのことを感受してきました。それらの表現を「芸術」と言っていいでしょう。それは、わたしたちの思考や感性の形成に深くかかわっています。その「芸術」は、生活の中から生まれ生活の中へと帰って行きます。そうした芸術はいかに生成し、また人文科学・自然科学をふくめた多領域の相互交流と受容によって、どのように変容してきたのでしょうか。ここでは複数の講師による多面的な視点から学び、ともに考えます。誰もが生活の中では自らの身体を使った表現者です。その表現（生活芸術）の生成と変容のあり方を、あらためて意識化し思考し、ふたたび生活へともどしていくことができることを期待します。

授業計画・春期

毎回異なる分野から講師を招き、講義をしていただく予定

1. 柏木博（デザイン評論家）オリエンテーション
2. 奈良忠寿「日本の文様・縄文」
渡辺憲司 言葉と文字による表現
3. 長谷川政春（日本文学）日本の芸術の発生（祭と踊り）
4. 熊澤弘（西洋美術史）西洋美術&アニメーション
5. 藪光生（和菓子協会理事）和菓子と日本人
6. 木村秀雄（文化人類学）音とリズムの芸術論
7. 柏木博「暮らしの変遷」ファッション
8. 川村格夫「暮らしの変遷」音と映像
大柳陽一「暮らしの変遷」メディア表現
9. 近藤哲雄（建築家） // 建物・空間
10. 村山順吉「音と身体による芸術表現」音の世界（仮称）
早野曜子「音と身体による芸術表現」動きの感性
11. 柏木博 まとめ
12. 柏木博 映画

授業計画・秋期

評価方法

出席、参加積極性、レポートなどを総合して評価。補講なし 欠席が全体の1/3を上回るとD評価

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

事前に各講師のテキストを印刷し、配布予定

参考文献

学生に望むこと・その他

毎回異なる講師による講義なので、きちんと講義ノートを取りそれぞれの講義を纏めておくこと。

履修要件